

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
外国語学部	外国語学科	夜・通信	14			14	13	
経済学部	経済学科	夜・通信				14	13	
	経営学科	夜・通信				14	13	
国際学部	国際学科	夜・通信				14	13	
	グローバルビジネス学科	夜・通信				14	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学生ポータル内のシラバス検索結果画面にて、実務家教員科目であること明記している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

教育情報の公表「12. 役員名簿」
<https://www.reitaku.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役社長	2022.3.19～ 2025.3.18	組織運営体制への チェック機能
非常勤	元株式会社 相談役	2022.3.19～ 2025.3.18	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役	2022.3.19～ 2025.3.18	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社代表取締役社長	2022.3.19～ 2025.3.18	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 1~2月シラバスの執筆期間を設け、各担当教員が期間内にWEB上で執筆する。シラバスの内容には授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法等を含む。3月にWEB上で公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>https://cplan.reitaku-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則にて、単位の算定基準、単位の認定について定め、また各学部でも履修規程を制定し、単位修得に必要な条件を定めている。 学則、履修規程に基づき、各教員はシラバスに記載された成績評価の方法、基準のとおり厳格かつ適正な成績評価を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPAの計算方法は以下の通り。</p> <p>素点100点をGPの最高点4.0点とし、素点60点のGPを1.0点として換算する。</p> $GPA = \frac{(\text{各科目のGP} \times \text{単位数})\text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位合計}}$ <p>成績評価指標として用いるとともに奨学金等の採否に利用している。</p> <p>「客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料」は別添付書類の通り。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、その判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	麗澤大学
設置者名	学校法人 廣池学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
財産目録	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
事業報告書	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/
監事による監査報告(書)	https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 事業計画書)	対象年度: 過去3年間)
公表方法: https://www.reitaku.jp/disclosure/financial/	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity/141/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity/141/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部 外国語学科
教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/ ）
（概要） 建学の精神「知徳一体」を基軸にした人格教育によって、多言語・多文化の平和的共存を実現するための包括的な価値観の形成及び人格陶冶を目指す。かつ国際教養教育により外国語・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えたグローバル化に対応できる国際的教養人を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要）本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。 （1）大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 （2）自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 （3）自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。 （1）物事を公平にみる力 （2）つながる力 （3）実行する力 本学では、基本的にこれら 3 つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要）本学では、倫理教育を核として教養全般の教育を行う。また、その教養教育を前提として専門教育の充実を図っている。学生は、それぞれの分野においてこれらの学びを深め、卒業認定・学位授与の方針に定める 3 つの力を育むことが期待されている。 外国語学部では、これら及び各専攻 DP に示す知識・能力を修得させるため、道徳教育、初年次教育、教養教育、専門教育、教職教育、キャリア教育、学部横断型プログラムの観点を踏まえ、専攻専門科目（基礎科目、上級科目）、卒業研究科目、外国語科目を含む共通科目等により構成する教育課程を編成している。いずれの区分においても一定以上の単位数の修得を義務付けている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/ ）
（概要）語学力・コミュニケーション能力・多文化理解能力を備えた、国際的教養人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。 （1）本学外国語学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 （2）外国語学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者 （3）外国語の基礎的な運用技能を持つ者 （4）外国語学部で学ぶ目的意識の強い者 （5）高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者 本学部では、このような人材を受け入れていくために様々な入学者選抜方法を実施する。

<p>学部等名 経済学部 経済学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/）</p>
<p>（概要） 道徳と経済の一体を教育理念として、国際性と品性を備え、かつ経済理論や経済政策に関する専門性を有する人材（経済学の理論に裏づけられた分析力を有し、現実の経済の分析と改善策を提言できる能力をもった経済専門家）を育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。</p> <p>(1) 大きな志をもって真理を探究し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物</p> <p>これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。</p> <p>(1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力</p> <p>本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 本学では、倫理教育を核として教養全般の教育を行う。また、その教養教育を前提として専門教育の充実を図っている。学生は、それぞれの分野においてこれらの学びを深め、卒業認定・学位授与の方針に定める3つの力を育むことが期待されている。</p> <p>経済学部経済学科では、これら及び各専攻 DP に示す知識・能力を修得させるため、道徳教育、初年次教育、教養教育、専門教育、教職教育、キャリア教育、学部横断型プログラムの観点を踏まえ、専攻専門科目（基礎科目、上級科目）、卒業研究科目、外国語科目を含む共通科目等により構成する教育課程を編成している。いずれの区分においても一定以上の単位数の修得を義務付けている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 国際性と倫理性を備え国際社会に貢献し得る人材を育成するという理念のもとに、経済学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。</p> <p>(1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者 (2) 経済学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 (3) 経済学部の学習に必要な基礎的知識を持つ者 (4) 経済学部で学ぶ目的意識の強い者 (5) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者</p> <p>経済学部の学習内容とは、経済専攻の4つのコース（経済コース、観光・地域創生コース、データサイエンスコース、グローバルエコノミーコース）における学びのことである。経</p>

<p>経済学部で学ぶ目的意識が強いとは、以下に示した内容を学ぼうとする強い意欲があることである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的思考力、情報技術、数理的手法、コミュニケーション能力などを活用して、社会課題の解決に取り組む意欲 2. 探究心を持って情報収集し、自らの考えを論理的に構成し、適切な表現で発表したり論述したりする意欲 3. 他者との相互理解を図り、協調して課題解決に取り組む意欲 4. 独創性があり、新しいことに挑戦しようとする意欲 <p>本学部では、このような人材を受け入れていくために様々な入学者選抜方法を実施する。</p>

<p>学部等名 経済学部 経営学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/）</p>
<p>（概要） 国際性と品性を備え、道経一体経営の理念をもって、21世紀に範を示す先駆的な経営を探究することによって、広い視野と深い洞察力を兼ね備えた経営エキスパートを育成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大きな志をもって真理を探求し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 <p>これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 <p>本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>（概要） 本学では、倫理教育を核として教養全般の教育を行う。また、その教養教育を前提として専門教育の充実を図っている。学生は、それぞれの分野においてこれらの学びを深め、卒業認定・学位授与の方針に定める3つの力を育むことが期待されている。</p> <p>経済学部経営学科では、これら及び各専攻DPに示す知識・能力を修得させるため、道徳教育、初年次教育、教養教育、専門教育、教職教育、キャリア教育、学部横断型プログラムの観点を踏まえ、専攻専門科目（基礎科目、上級科目）、卒業研究科目、外国語科目を含む共通科目等により構成する教育課程を編成している。いずれの区分においても一定以上の単位数の修得を義務付けている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>

<p>(概要)</p> <p>国際性と倫理性を備え国際社会に貢献し得る人材を育成するという理念のもとに、経済学に関する基礎的専門力を備えた人材、すなわち国際公共人を育成するという本学部の教育目標を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身に付けている者を求め、受け入れる。</p> <p>(1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者</p> <p>(2) 経済学部の学習内容を理解し、関心を持つ者</p> <p>(3) 経済学部の学習に必要な基礎的知識を持つ者</p> <p>(4) 経済学部で学ぶ目的意識の強い者</p> <p>(5) 高等学校時代の学習及び諸活動において成果を挙げた者</p> <p>経済学部の学習内容とは、経済専攻の4つのコース（経済コース、観光・地域創生コース、データサイエンスコース、グローバルエコノミーコース）における学びのことである。経済学部で学ぶ目的意識が強いとは、以下に示した内容を学ぼうとする強い意欲があることである。</p> <p>1. 論理的思考力、情報技術、数的手法、コミュニケーション能力などを活用して、社会課題の解決に取り組む意欲</p> <p>2. 探究心を持って情報収集し、自らの考えを論理的に構成し、適切な表現で発表したり論述したりする意欲</p> <p>3. 他者との相互理解を図り、協調して課題解決に取り組む意欲</p> <p>4. 独創性があり、新しいことに挑戦しようとする意欲</p> <p>本学部では、このような人材を受け入れていくために様々な入学者選抜方法を実施する。</p>
--

<p>学部等名 国際学部 国際学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/）</p>
<p>(概要)</p> <p>多様性を重視し、異質のものをつなぐ発想で、共生社会の実現に寄与することのできるグローバル社会のリーダー的人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。</p> <p>(1) 大きな志をもって真理を探求し、高い品性と深い英知を備えた人物</p> <p>(2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物</p> <p>(3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物</p> <p>これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。</p> <p>(1) 物事を公平にみる力</p> <p>(2) つながる力</p> <p>(3) 実行する力</p> <p>本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>

<p>(概要)</p> <p>本学では、倫理教育を核として教養全般の教育を行う。また、その教養教育を前提として専門教育の充実を図っている。学生は、それぞれの分野においてこれらの学びを深め、卒業認定・学位授与の方針に定める3つの力を育むことが期待されている。</p> <p>国際学部国際学科では、各専攻 DP に示す知識・能力を身に付けさせるため、学科専門科目、共通科目、卒業研究科目等により構成される教育課程を編成し、それぞれの区分から一定の単位数の修得を義務付けている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>グローバル社会で生き抜くコミュニケーション能力と人間力を身につけ、地球規模で生ずる様々な問題を把握し、それに対処していける人材、すなわち高い志と倫理観を備えたグローバルリーダーを育成するという本学部の教育理念を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身につけている者を求め、受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者 (2) 国際学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 (3) 国際学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者 (4) 英語の基礎的な運用技能を持つ者 (5) 国際学部で学ぶ目的意識の強い者 (6) 目標に向けて継続的な努力を続けられる者 <p>本学部では、このような人材を受け入れていくために様々な入学者選抜方法を実施する。</p>

<p>学部等名 国際学部 グローバルビジネス学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学公式ウェブサイト「教育情報の公表」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/）</p>
<p>(概要)</p> <p>「知徳一体」の精神に則り、「倫理性を備え、世界の人々と国内外で問題解決ができる力を身につけ、グローバルな舞台で活躍できるビジネスパーソンとなる人材の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、「人類に普遍的な道徳の最高原理に基づいた教育を行い、その精神の上に現代の科学と知識を十分に修得させる知徳一体の人材の養成」を使命としている。この使命に基づき、次のような人物の育成を教育目標として掲げている。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大きな志をもって真理を探求し、高い品性と深い英知を備えた人物 (2) 自然の恵みと先人の恩恵に感謝し、万物を慈しみ育てる心を有する人物 (3) 自ら進んで義務と責任を果たし、国際社会に貢献できる人物 <p>これらの人間像を「学士力」として言い換えれば、それぞれ、次のように表現される。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 物事を公平にみる力 (2) つながる力 (3) 実行する力 <p>本学では、基本的にこれら3つの力を備えた学生が卒業を認定され、学位を授与される。学部、専攻ごとに具体的なディプロマポリシーを設け、それらの判断基準に沿って認定された単位を、卒業要件単位数を満たす形で修得した学生に授与するものとし、これを本学の学位授与方針とする。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方</p>

針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/
<p>(概要)</p> <p>本学では、倫理教育を核として教養全般の教育を行う。また、その教養教育を前提として専門教育の充実を図っている。学生は、それぞれの分野においてこれらの学びを深め、卒業認定・学位授与の方針に定める3つの力を育むことが期待されている。</p> <p>国際学部国際学科では、各専攻 DP に示す知識・能力を身に付けさせるため、学科専門科目、共通科目、卒業研究科目等により構成される教育課程を編成し、それぞれの区分から一定の単位数の修得を義務付けている。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学公式ウェブサイト「大学の方針」 https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/）</p>
<p>(概要)</p> <p>グローバル社会で生き抜くコミュニケーション能力と人間力を身につけ、地球規模で生ずる様々な問題を把握し、それに対処していける人材、すなわち高い志と倫理観を備えたグローバルリーダーを育成するという本学部の教育理念を達成させるため、以下の知識・能力・態度を身につけている者を求め、受け入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「知徳一体」の教育理念を理解し、関心を持つ者 (2) 国際学部の学習内容を理解し、関心を持つ者 (3) 国際学部での学習に必要な基礎的知識を持つ者 (4) 英語の基礎的な運用技能を持つ者 (5) 国際学部で学ぶ目的意識の強い者 (6) 目標に向けて継続的な努力を続けられる者 <p>本学部では、このような人材を受け入れていくために様々な入学選抜方法を実施する。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.reitaku-u.ac.jp/about/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5人	—					5人
外国語	—	16人	13人	15人	4人	0人	48人
国際	—	24人	9人	4人	0人	0人	37人
経済	—	19人	9人	1人	2人	0人	31人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		82人					82人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/teachers					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>全学 FD 委員会 学長を委員長とし、副学長、学長補佐、学部長、各学部からのオブザーバーの教員を委員とし、全学 FD 委員会を設置している。</p> <p>①2022 年度はより活発な議論が展開できるよう、下部組織として「FD 活動推進チーム」を組織した。 FD 活動推進チームにて本学の課題として「GPA の見直し」「大学における合理的配慮と欠席」「教学マネジメント指針の共有」を議論し、全学 FD 委員会での決定、全学教員懇談会で全教員に共有するというフローを確立することができた。</p> <p>②2022 年度は委員会を 5 回開催し、FD 活動推進チームによる検討課題の共有、学生による授業改善アンケート実施の PDCA に基づく授業改善に取り組んだ。特に、学生の意見、要望への対応として、授業改善アンケートの自由記述欄における改善を求めるコメントのうち、特に大学として対応・措置が必要なものについては、慎重な事実確認を踏まえて、学部長などの責任者により個別に面談を行う対応を行った。</p> <p>③2020 年度より継続している学修達成度調査も継続して実施した。</p> <p>④2024 年度設置カリキュラムにおける共通科目を「麗澤スタンダード」として全学共通とすることを決定した。</p> <p>⑤2024 年度にむけて、本学の GPA の算出方法の見直しを検討し、新基準の導入を決定した。</p> <p>2022 年度 FD 委員会活動実績 4 月 21 日(木) 14 人 ①2024 年度設置カリキュラムにおける、麗澤スタンダード科目の方向性について ②2022 年度第 1 学期授業改善アンケートスケジュール</p> <p>5 月 26 日(木) 14 人 ①2024 年度以降の成績評価と GPA 算出基準の変更について ②2022 年度授業改善アンケートについて</p> <p>8 月 25 日(木) 16 人 ①授業改善アンケート ヒアリング対象教員、対応方法について</p> <p>11 月 17 日(木) 12 人 ①授業改善アンケート ヒアリング結果について ②2023 年度シラバスの改訂について</p>							

2月9日(木) 13人

①2023年度授業改善アンケート アンケート項目について

(2) 全学教員懇談会およびFD研修会および

①2022年度より月1回の全学教員懇談会を開催したことにより、教員間の意見交換、情報交換の活発化を図った。全学教員懇談会では、全学FD委員会の報告の他、学内の課題の共有等を進めることができた。

②FD研修会

2023年度に向けて、全学FD研修会を実施した。

12月8日(木)

①2023年度シラバスの作成について

②大学設置基準の改訂について

③2024年度にむけた教務システムの変更について

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関する事

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
外国語学部	220人	204人	92.7%	880人	935人	106.2%	人	19人
経済学部	220人	282人	128.1%	880人	992人	112.7%	人	4人
国際学部	160人	154人	96.3%	640人	558人	87.1%	人	12人
合計	600人	652人	108.7%	2400人	2485人	103.5%	人	35人

(備考) 編入学定員は、若干名である。

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
外国語	304人 (100%)	14人 (4.6%)	271人 (89.1%)	19人 (6.3%)
経済	331人 (100%)	12人 (3.6%)	292人 (88.2%)	27人 (8.2%)
合計	635人 (100%)	26人 (4.1%)	563人 (88.7%)	46人 (7.2%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
外国語学部	345人 (100%)	265人 (76.8 %)	32人 (9.3%)	38人 (11%)	10人 (2.9 %)
経済学部	365人 (100%)	308人 (84.4 %)	13人 (3.6%)	38人 (10.4%)	6人 (1.6 %)
合計	710人 (100%)	573人 (80.7 %)	45人 (6.3 %)	76人 (10.7%)	16人 (2.3 %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
1～2月にシラバスの執筆期間を設け、各担当教員が期間内にWEB上で執筆する。シラバスの内容には授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法等を含む。 3月にWEB上で公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学則にて、単位の算定基準、単位の認定について定め、また各学部でも履修規程を制定し、単位修得に必要な条件を定めている。				
学則、履修規程に基づき、各教員はシラバスに記載された成績評価の方法、基準のとおり厳格かつ適正な成績評価を行っている。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語学部	外国語学科	124単位	有・無	24単位
経済学部	経済学科	124単位	有・無	20単位
	経営学科	124単位	有・無	20単位
国際学部	国際学科	124単位	有・無	20単位
	グローバルビジネス学科	124単位	有・無	20単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/policy/		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/images/diplomapolicy.pdf		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
全学部	全学科	830,000 円	260,000 円	856,000 円	施設費：300,000 円 寮 費：556,000 円 (最大値)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 各学期はじめに履修オリエンテーション、履修相談会を実施し、履修パス、履修上の注意事項等を示している。 教務・国際交流課では各学生の単位修得状況に合わせ個別に対応している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ・誰もが何度でも使える個別面談の実施をしている(3年生は必ず全員面談を行う)。 ・学内での合同及び個別企業説明会の実施をしている。 ・5つのキャリア教育科目と公務員コースによる進路支援をしている。 ・就職活動のオンライン化に対応する設備の設置(オンライン面接等に活用できる個別ブースを5台設置、面談・イベントをwebで行えるオンラインキャリアセンターの設置等)
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・学生の心身の健康等を支援するために、健康支援センター、学生相談室及び障がい学生支援課を設置している。 ・健康支援センターでは、在学中の学生が円滑に教育を受けられるよう、健康管理的な側面だけでなく、生涯にわたって健康な生活を送るための知識・技能、自らの健康を管理し、健康の大切さ、健康の保持増進に向かう意識を育むことを目指し、医師・看護師等が心身の健康を支援している。 ・学生相談室では、大学生活への適応や年齢に応じた心理的発達の促進を目指し、専門家によるカウンセリングを通じた心理的援助を中心に、居場所や交流の機会の提供、教育的活動、保証人の学生に関する相談、教職員への学生対応に関する助言、学内の支援体制への提言等を行っている。 ・障がい学生支援課では、学内外の関係部署と連携しながら、障がい学生に関する全学的な支援体制をコーディネートしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.reitaku-u.ac.jp/about/activity_publication/
